

1. 件 名：九州電力株式会社川内原子力発電所の原子力事業者防災訓練の
事前説明について

2. 日 時：令和5年11月21日（火）10時00分～12時10分

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC会議室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職、
沼田専門職、五十嵐室員

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災担当次長 他4名

【ピアレビュー事業者】

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力業務グループ 担当課長 他4名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ 課長 他7名

中部電力株式会社

本店 防災・核物質防護グループ 課長 他3名

【オブザーバー事業者】

東北電力株式会社

原子力部 原子力防災・防護 担当

北陸電力株式会社

原子力部 原子力防災チーム 副課長

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他2名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ 副長

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他2名

電源開発株式会社

原子力技術部 運営基盤室（防災技術基盤） 統括マネージャー
他1名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和5年12月19日に予定されている同社川内

原子力発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的及び達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施体制及び評価体制
- ・ 訓練の項目と内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁及びピアレビューを行う事業者から、評価者が評価指標の「評価対象の考え方など」に従って適切に評価できるよう、以下についてコメントした。九州電力株式会社から本日の面談でのコメントを踏まえ、具体的なエビデンスの提示や説明資料への反映など必要な対応を行う旨の回答があった。また、12月19日の訓練実施までに、九州電力株式会社の対応状況を確認するための面談を調整することとした。

- ・ 「指標2：ERCプラント班との情報共有」に関して、ERCリエゾン等の要員の育成・配置計画に関して説明が不足しているため、社内決定文書等のエビデンスを整理した上で説明すること。
- ・ 「指標6：シナリオの多様化・難度」に関して、判断分岐としている内容など、評価プレイヤーへ難度の高い課題をどのように与えているか具体的な説明が不足しているため、再度資料を整理した上で説明すること。

また、原子力規制庁から、今回の訓練はピアレビュー対象の訓練であり、原子力規制庁の訓練への関与等について今後調整する旨伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 川内原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5週間前）時の確認事項（九州電力株式会社）